

高校生・保護者の本音「クリスマスプレゼント大調査 2024」

<保護者>物価上昇がプレゼントに影響ある人の78.1%がクリスマス予算は“変化なし”
19.0%が子どもへのクリスマスプレゼントは「18歳成人まで」

<高校生> 2023年に実際にもらったプレゼント平均金額は「8,495円」

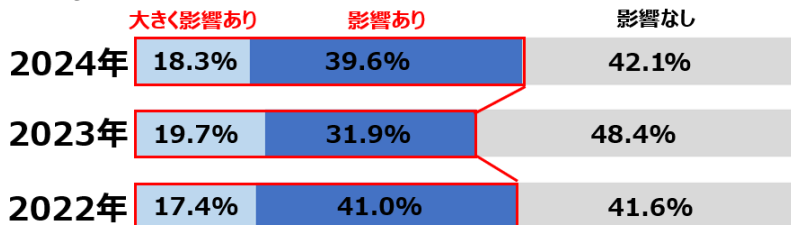
株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、スタディサプリ編集部が高校生エディターと公式 LINE 登録者を対象に“クリスマスプレゼント”についてアンケートを実施致しました。また、こちらのアンケートの詳細は『スタディサプリ進路』内の「#高校生なう」でお知らせしています。

URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20241202000006/?vos=scrmot00091>

■保護者が回答！物価上昇など経済状況が子どものクリスマスプレゼントに“影響あり”は昨年比 6.3Pt 増 一方、“影響あり”の人の78.1%はクリスマス全体予算を“変えない”とし、“やりくり”で乗り切る様子

2022年から継続して聞いている「物価や為替などの経済状況が与えるクリスマスプレゼントへの影響」ですが、昨年と比較して今年は「大きく影響あり」「影響あり」の合計が昨年よりも6.3ポイント増加。2023年は物価上昇などに少し慣れてしまっていたものの、2024年はさらに厳しくなったことを敏感に捉えた結果と考えてよさそうです。一方で、「大きく影響あり」「影響あり」と回答した人に、クリスマス全体予算の増減を聞くと78.1%の人が「変えない」と回答。これまでと同じ金額を守りつつもやりくりで何とかする姿勢がうかがえます。

Q:物価や為替などの経済状況がお子様へのプレゼントに影響はありそうですか？



影響ありの合計

(単一回答/2024年 n=197、2023年 n=310、2022年 n=161)

※2024年は「クリスマスプレゼントをあげる」人のみ回答

<経済状況による家計事情が与えるクリスマス全体予算への影響>



(単一回答/大きく影響あり・影響ありと回答した n=114)

■子どもにクリスマスプレゼントを渡すのは、「高3まで」22.9%に次いで「18歳成人まで」が19.0% 2023年に高校生が実際にもらったプレゼント平均金額は「8,495円」、2022年から698円ダウン

いつまでクリスマスプレゼントをもらえるのかは高校生の気になりどころ。そこで、プレゼントを渡す側の保護者に聞いてみると、1位は「高校3年生まで」で高校卒業が一つの区切りに。2位には、「18歳で成人するまで」がランクインし、2022年4月から引き下げられた成人年齢も保護者は意識していることが分かりました。

また、昨年実際に高校生がもらったプレゼントの金額を聞くと平均「8,495円」で2021年水準までダウン。クリスマスの全体予算が変わらない中、食品などの値上がりでプレゼント代が圧迫されているのかもしれない。

Q:子どもにクリスマスプレゼントを渡すのはいつまで？

1位	高校3年生まで	22.9%
2位	18歳で成人するまで	19.0%
3位	社会人になる前まで	14.2%

(単一回答/n=310)

<高校生が実際にもらったプレゼントの平均金額>

2023年(n=697)	8,495円
2022年(n=685)	9,193円
2021年(n=779)	8,543円

(数値回答、0円も含む)

■編集長コメント

社会情勢を踏まえ、保護者のフトコロ事情を十分におもんぱかりながらも、日頃の頑張りをプレゼントに反映してほしいという願いも忘れない高校生



『スタディサプリ進路ブック』
編集長
金剛寺 千鶴子
(こんごうじ ちづこ)

クリスマスプレゼントに関する2024年の調査では、保護者からの回答は、上記の通り家庭のお財布事情の厳しさを反映した数字となりました。高校生側も、「世の中の景気は自分のクリスマスプレゼントに影響すると思うか」という質問に対し、6割以上がYESと回答しました。「値上がりをしているので、あまり高価のものは頼めないと思っている」、「賃金上昇の幅と物価上昇幅があまりにかけ離れていて、物価が高すぎてプレゼントどころではない」「景気が悪いと経済も回らないし、保護者のお財布がスカスカだと子どもに渡すお金も少ない…」のように、家計の厳しさをおもんぱかる様子がうかがえました。一方で、「自分の頑張りが良い態度が、クリスマスプレゼント・クリスマスの過ごし方に良い影響を与えてくれると思うか」を尋ねたところ、半数以上(51.2%)がYESと回答。大人の事情を冷静に認識しつつも、クリスマスへの小さな期待も忘れない。高校生世代ならではの様子が浮き彫りになる結果となりました。

【アンケート概要】

- 調査期間：①2024 年 10 月 28 日(月)～10 月 30 日(水)
②2024 年 10 月 30 日(水)～2024 年 10 月 31 日(木)
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査対象：①全国高校生男女（『スタディサプリ進路』の高校生エディター／公式 LINE 登録者）
②高校生の子どものいる男女
- 有効回答数：①697 人（男子 203 件、女子 477 件、回答しない 17 件） ②310 人（男性 155 件、女性 155 件）
- 調査実施機関：①株式会社リクルート ②株式会社マクロミル

■『スタディサプリ進路』について

『スタディサプリ進路』は、1970 年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020 年に 50 周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“「学びたい」「学んでよかった」がもっと増えていく世界の実現”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校 3 年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応するさまざまな教材ラインアップを無料で提供しています。

（詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>）

■“スタサプ編集部”について

全国 3,000 人以上の現役高校生からなる「スタサプ高校生エディター」と共に、高校ライフにフィットするコンテンツを作る編集部。進路や受験勉強のノウハウはもちろん、夜食レシピやメンタルを支える名言などの多様なコンテンツを、Web サイト『#高校生なう』、年 8 回発行の情報誌『スタサプ進学マガジン』、アプリ『スタディサプリ for SCHOOL』、会員向けメールマガジン、各種 SNS で配信中。

なお、今回のアンケート結果をさらに詳しく分析した記事は『#高校生なう』の下記 URL にて公開中。

<URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20241202000006/?vos=scrmot00091>>

また、スタサプ編集部では、毎月 LINE でアンケートを配信し、読者の高校生・保護者の皆さまから頂くご意見を記事に反映しています。現在も、今後のより良い記事制作に向けて LINE お友達を絶賛募集中です！ご興味をお持ちの方は、ぜひご登録ください。

<LINE URL：<https://lin.ee/LbRvueT>>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>